

# エアバルーン逆走警告装置

～迅速な危険性の伝達で、道路の安全を守る～

共同特許取得済 (PAT.No.6441436)

共同特許者：一般社団法人 日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所



逆走  
対策

事故  
防止

## 逆走車と順走車の正面衝突を回避

逆走車と順走車の正面衝突が発生するなど、痛ましい事故にもつながりかねない「高速道路での逆走」。現在、逆走事案は年間200件以上発生しているといわれています。そして多くは「インターチェンジ・ジャンクション」から逆走が発生していること、ドライバーの年齢は「65歳以上」が多数を占めていることもわかっています。「エアバルーン逆走警告装置」はそれらの要素を念頭に置き、「物理的」「視覚的」効果で逆走に気づかせることを目的とした装置です。



POINT

1

エアバルーンによる  
物理的警告



センサーにより逆走車を検知すると、逆走車の前にエアバルーンを展開。物理的な障害を道路に配置することで、逆走車の減速・停止を促します。

POINT

2

多彩な工夫を施し  
視認性アップを実現

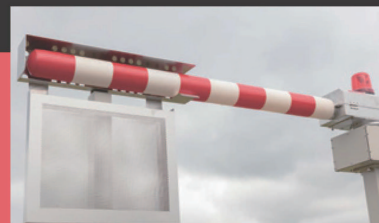


視認性の高い赤色のエアバルーンの先端には、進入禁止の垂れ幕を装着。バルーン部も、目を引く内照式としています。

POINT

3

軟らかなバルーンで  
ダメージを最小限に



エアバルーンの素材は軟質材を採用。逆走車がバルーンに接触してもドライバーへのダメージを最小限に留めます。



一般社団法人 日本建設機械施工協会

施工技術総合研究所

JAPAN CONSTRUCTION METHOD & MACHINERY RESEARCH INSTITUTE